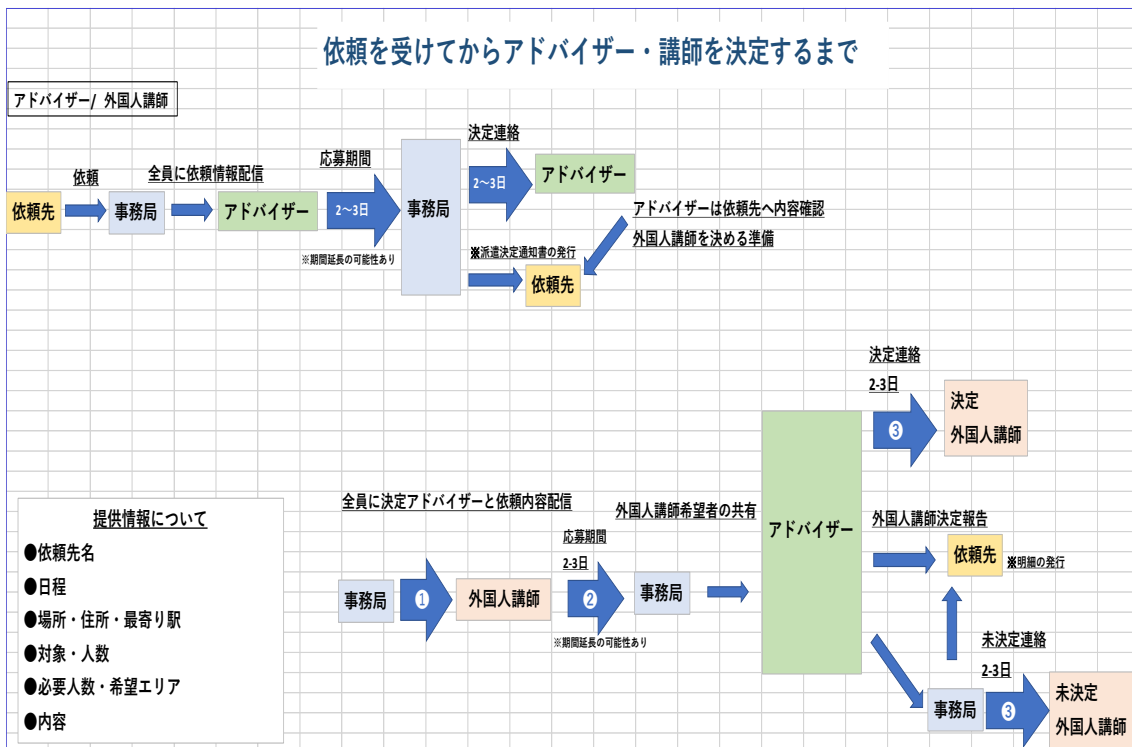


令和5年度 世界へのトビラ事業 オンラインミーティング開催報告

1. 日 時 令和5年6月7日（水）10：00～11：00
2. 会 場 オンラインで各所（Zoom を利用）
3. 参加者 12名（外国人講師 10名 / アドバイザー 2名）
4. 開催内容 自己紹介、講師・アドバイザーの選定方法の変更に伴う意見交換等。



（1）【新しい募集方法についての意見交換】

- ◆現在、募集期間を3日程度で締め切っているが、仕事の調整に1週間は必要だと感じた。
 - ◆仕事や、予定を長く空けておいてもらうよりは、募集期間を短くすることで、結果を早く出したほうが良いというのが前回の意見だった。
 - ◆開催日時までが短い、長いなどによって募集期間の多少の変更はあっていいと思う。
 - ◆レスポンスの早さも重要だと思うので、まずは短い期間で募集をして、集まらなければ期間延長も含めて考えるのがいいと思う。
 - ◆期間が短いだけの応募内容だと自由がききやすい人に集中してしまって、結局いつも同じ人ばかりになるという懸念がある。今後全員に平等にチャンスをとということであれば、学校に迷惑がかからない範囲で募集期間の調整をしてもらえれば、行ける人のチャンスが広がるのではないかと。
- 今後は少し先の日程の依頼募集であれば、募集期間を長めにとるなど依頼の内容によって臨機応変に募集期間等は調整をして対応していくことにする。

◆募集期間より早く応募者が集まってしまっている場合は、締め切りを待たないで打ち切りとすることについてどう思うか。

→応募の案内文の中に「応募が多数の場合は早めに締め切る」ことを一文入れてあれば問題ないのではない。

(2)【アドバイザーの方はどんなアドバイスをするのか】

◆まだ一緒に行ったことのないアドバイザーの方もいる。普段どんなアドバイスをしているのか？

→まだ経験が浅く、ベテランの講師の方と一緒にいったのでアドバイスはしていない。楽しく当日を過ごすことはできた。

→アドバイザーや講師の経験値を考えて今まで、マッチングをしていたがそれは募集方法が変わった今後も変わらない。活動することが嫌だと思ったり、負担に感じるような内容にならないように配慮を続けて講師決定をしていきたいと思うので安心してほしい。

(3)【教室での担任の先生の対応について】

◆講師としては一緒に授業を聞いて参加してほしいと思うが、他の教室の見学に行ってしまう先生がいる。

→先生に教室にいてほしいとお願いすることはできても、強制することは難しい。

→アドバイザーとしては、先生には、よい生徒になって、積極的に授業に参加してください。と伝えている。担任の先生には教室にいてもらうように伝えている。

→全体会をすることで、少し全体の講師の様子を分かってもらえれば変わるかもしれない。
(教員としての意見：嘉藤先生より)

→教員側の考えとしては、中学校や高校は担任を持ってはいても教科ごとの指導で、学年全体を見ている先生がほとんどなので、自分のクラス以外の生徒の反応も見ておきたいという気持ちがある。自分だったら他の教室の生徒の反応を見に行ってしまうと思う。その生徒たちの反応を自分の授業の中で生かすことも考えているので。

ただ、この時間はクラス担当として授業に参加してほしいと事前にわかっているならば、他の教室をのぞきに行くことはないとは思っているので、事前のすり合わせができているかどうかも大切なのではないか。

(4)【月一のミーティングの開催日程について】

◆曜日等を固定してしまうといつも参加できない人が出てきてしまう。

◆夜や土日での開催は難しいのか？

◆次回日程についてはこのミーティングの中で決めようと思うがどうか？

→次回開催については、協会の方で日程を組んでお知らせしてくれればよい。その日程については固定にするのではなく、曜日や時間帯を変えて、その時間に参加できる人に参加をしてもらうという方法をとるのがよい。

土日を含めた夜などの時間帯での開催については、テーマを決めてたくさんの方に参加してもらうことで意見交換をしたいなど、目的がハッキリしている場合には検討するので、通常時は平日の開催としたい。